



博多丸を待ちつゝ

前週ケープ、タウンからの電報に依れば、千六百有餘名の移民を搭載して、七月十二日に長崎を發した「博多丸」は、去る十七日無事ケープ、タウンに入港、十九日サントスに向け出帆した云ふことだから、最終のサントス着は明日一日だと思ふ。

「博多丸」は日本出帆準備時より深甚なる注意を拂ひ、移民集合地も腦脊髄膜炎流行地である神戸を避けて長崎とし、又搭載人員数も内輪にして船中の衛生を行き届かしむる様にしたと云ふことであるから「博多丸」長崎出帆の電報に接した時直ぐに「今度の航海は無事であらう」と直覺的に一種の信念を發して喜んだのである。

うは云ふもの、長路の航海且つ戦時の今日、不可抗力に如何なることが無いとも限らない、勿論帝國海軍の權威ある警備と、博多丸船長以下船員諸君の優秀なる技術とに全幅の信頼を置くのであるが、其れでも安着と云ふ事實に接するまでは、何となく案じらるゝは人情の弱點で、而かも同船には海外興業株式會社伯國支店長田口道造氏及び一族が乗つて居らるゝのである、田口氏は前きの伯刺西爾移民組合伯國支店長で、日本と伯國間の航海には慣て居らるゝが、家族の身の上はさうであるか、之も亦案じられるのである。

サンタカーザ寄附者芳名並金額(第十二回)

此の人々を吾々二萬の大家族に加へて、共同一致の圓滿なる發達を遂ぐる様にして貰ひたいと思ふのである

- 池田正記 一五五五
林岩松 一五五五
橋本喜一 一五五五
西川智輔 一五五五
土井正雄 一五五五
岡島一男 一五五五
龜井千男 一五五五
筒井恒水 一五五五
中林健二 一五五五
七森喜一 一五五五
上野友一 一五五五
久保峯芳 一五五五
兒玉良一 一五五五
安藤壽男 一五五五
青木梅雄 一五五五
喜屋武加那 一五五五
久嶋吉太郎 一五五五
中野時得 一五五五
大城信一郎 一五五五
中村末熊 一五五五

丸西徳用醬油

丸西徳用醬油 瓶代共一ミル二百レリス 伯國一販賣 遠藤常八郎 Rina Conte de Sarzedas 65 Sao Paulo

- 土肥梅若丸 一五五五
菅山驚造 一五五五
城崎豐一 一五五五
波本安太郎 一五五五
堀川齋助 一五五五
松尾伊和 一五五五
青山萬太郎 一五五五
田中清一 一五五五
近藤孝一 一五五五
小林新太郎 一五五五
内村豊喜 一五五五
青木園太郎 一五五五
大高艶太郎 一五五五
木村又四郎 一五五五
白石米太郎 一五五五
紫田房吉 一五五五
服部新治 一五五五
久安長治 一五五五
田島文七 一五五五
岸信造 一五五五
東風平朝芳 一五五五
奥濱武太 一五五五
當間龍一 一五五五
花城蒲生 一五五五
同蒲生 一五五五
同蒲生 一五五五
安里昌樞 一五五五
米須蒲生 一五五五
東風平朝琴 一五五五
間崎三三 一五五五
山中信繁 一五五五
山野シン 一五五五
米山勉 一五五五
松田安喜 一五五五
宮崎馬藏 一五五五
芳島芳太郎 一五五五
兼田千代吉 一五五五
兼田富太郎 一五五五
前野數男 一五五五
川畑龜吉 一五五五
大岩根清藏 一五五五
西園映吉 一五五五
中村牛哉 一五五五
持留岩吉 一五五五
福滿次郎助 一五五五

伯刺西爾拓殖會社

伯刺西爾拓殖會社 「イグアペ」植民地 當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技師、園藝得業士等常置し植民地の保護誘掖上必要なる組織を有す

- 石川繁雄 一五五五
菅野昌西 一五五五
山本里右衛門 一五五五
半谷重太郎 一五五五
吉田萬吉 一五五五
高山運平 一五五五
石井文吉 一五五五
同丈吉 一五五五
川村泰吉 一五五五
吉瀬高雄 一五五五
溝上喜八 一五五五
阿世賀政記 一五五五
於保嘉六 一五五五
森下太三 一五五五
一六喜代平 一五五五
森下久六 一五五五

珈琲と綿の歩合

珈琲園の手入採取と畝間の綿作とを目的とする歩合作人数十戸を募集す 作人は珈琲及び綿收穫の若木の場所ならば半額、古木の場所ならば三分の二を所得し、家屋、食料及び諸穀物耕作に適良なる開作地を貸與す 地味肥沃にして手入行届き居り且つ 今回の霜害を免れ明年度の收穫多くなる見込みあり

- 柄澤幸之助 一五五五
山口牛松 一五五五
川上三藏 一五五五
萩原千藏 一五五五
築山兼太郎 一五五五
代田喜市 一五五五
梅田半藏 一五五五
池田孝三 一五五五
濱村鎌太郎 一五五五
岡本忠吉 一五五五
松井萬次郎 一五五五
西山桂太郎 一五五五
永松彌次郎 一五五五
佐藤常喜 一五五五
宮本順喜 一五五五
島田勝藏 一五五五
木村寅平 一五五五
伊吹政七郎 一五五五
福永金藏 一五五五
出水末喜 一五五五
荒崎初次 一五五五
桑鶴忠藏 一五五五
鳥越源吉 一五五五
岡本次郎 一五五五
岡本太郎 一五五五
木安百太郎 一五五五
本島松三 一五五五
鈴木愛次郎 一五五五
竹内盛枝 一五五五
清島佐吉 一五五五
江崎昇 一五五五
蓮實録壽 一五五五
黒田タミ 一五五五

わづかに 八ヶ月に利益

ノロエヌテ線線ンシナード、ブラガ驛クレシニマル 耕地に棉栽培及び採收をなすべくコロノ家族を募集す。耕地は棉栽培の爲め既に整調したる土地を與へ手入賃及び採收賃は他耕地に比し高價に支拂ひ且つコロノには食料品買入の爲めに要する金額を前貸す。 猶詳細の條件に就きては左記の處へ照會ありたし。 大正七年七月

伯刺西爾拓殖會社 「イグアペ」植民地 當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技師、園藝得業士等常置し植民地の保護誘掖上必要なる組織を有す 當植民地は道路四通八達交通自在なり 當植民地に於ては新來植民は耕作時期まで日雇又は請負の勞働に従事すことを得 當植民地には資力乏しき者にて自作農業爲し得る方法あり 「イグアペ」植民地視察者の爲め「サントス」より 植民地本部「レヂストロ」に到る道案内 汽車の「サントス」發は毎週月曜日(午前九時二十分)土曜日(此日だけ午前七時)にして其「ジュキア」着は午後四時 此間の運賃等は十軒百レリスなり 針内外なるが投宿の際取極め置く方宜し。 翌朝汽船又はガソリンランシャにて「ジュキア」を立て 是當日「レヂストロ」に到着すべし 此間運賃參針なり

西原農園

Colonel Franco, Faz. Crescimental, Est. Chincinato Braga, Linha Noroeste.

伯刺西爾拓殖會社 「イグアペ」植民地 當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技師、園藝得業士等常置し植民地の保護誘掖上必要なる組織を有す 當植民地は道路四通八達交通自在なり 當植民地に於ては新來植民は耕作時期まで日雇又は請負の勞働に従事すことを得 當植民地には資力乏しき者にて自作農業爲し得る方法あり 「イグアペ」植民地視察者の爲め「サントス」より 植民地本部「レヂストロ」に到る道案内 汽車の「サントス」發は毎週月曜日(午前九時二十分)土曜日(此日だけ午前七時)にして其「ジュキア」着は午後四時 此間の運賃等は十軒百レリスなり 針内外なるが投宿の際取極め置く方宜し。 翌朝汽船又はガソリンランシャにて「ジュキア」を立て 是當日「レヂストロ」に到着すべし 此間運賃參針なり



